

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定率法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式で処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,200,000	20,000,000		23,200,000
投資有価証券	60,084,451		20,031,373	40,053,078
小 計	63,284,451	20,000,000	20,031,373	63,253,078
特定資産				
移転準備金				
小 計	0	0	0	0
合 計	63,284,451	20,000,000	20,031,373	63,253,078

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち 負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	23,200,000	19,600,000	3,600,000	
投資有価証券	40,053,078	20,000,000	20,053,078	
小 計	63,253,078	39,600,000	23,653,078	0
特定資産				
移転準備金	0			
小 計	0	0	0	0
合 計	63,253,078	39,600,000	23,653,078	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	期末残高
什器備品 ノートパソコン	124,200	102,206	21,994
合 計	124,200	102,206	21,994

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
利付国債 10年 第299回	10,008,600	10,003,000	-5,600
利付国債 10年 第300回	10,016,678	10,042,000	25,322
利付国債 10年 第301回	10,003,600	9,976,000	-27,600
利付国債 10年 第305回	10,024,200	10,048,000	23,800
合 計	40,053,078	40,069,000	15,922

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期 末残高	貸借対照表上 の記載区分
角膜移植普及啓発 活動促進事業助成金	日本アイバンク協会	0	2,565	2,565	0	
アイバンクだより助成金	愛媛県共同募金会	0	200,000	200,000	0	
合 計		0	202,565	202,565	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 訳	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	300,633
合 計	300,633

以 上